
9月5日 会場U 13:20-14:20

特別講演

わが感性経営を語る



田沼 千秋
株式会社グリーンハウス

田沼 千秋
株式会社グリーンハウス 代表取締役社長

株式会社グリーンハウスは、東京都新宿区に本社を置く給食業務やレストラン運営などを行う企業。

創業昭和22年4月1日(会社設立 昭和34年2月20日)
資本金21億4,304万円
本社 東京都新宿区西新宿3丁目20番2号 東京オペラシティタワー17階
〒163-1477 TEL.03-3379-1211(代表)

食品流通センター 神奈川県横浜市都筑区池辺町3774番2号
〒224-0053 TEL.045-934-1641(代表)
エキスパート・ビジュアル・トレーニングセンター 東京都新宿区西新宿3丁目7番1号 新宿パーク
タワー21階

沿革

1947年(昭和22年)4月1日: 田沼文蔵が慶應義塾大学の嘱託となり、大学予科食堂を経営。
1954年(昭和29年)3月: 有限会社グリーンハウスを設立。社名は、慶應義塾の塾生から公募した。
1959年(昭和34年)2月20日: 横浜市港北区日吉に資本金200万円にて株式会社グリーンハウスに改組する。
1989年4月: グリーン食品株式会社を合併。
1994年: グリーンハウスフーズから、中国料理「謝朋殿」が営業譲渡される。
2002年2月: 株式会社ジー・ティー・フードサービスを合併。
2006年3月22日: グリーンハウスフーズと株式交換。
2008年: 「西安餃子」「粥餐厅」等をグリーンハウスフーズへ営業譲渡する。
2009年: 「謝朋殿」をグリーンハウスフーズへ営業譲渡する。

わが感性経営を語る

○田沼千秋氏（株式会社グリーンハウス代表取締役社長）

1. ご紹介

（株）グリーンハウスは、我が国屈指のフードサービス事業者である。田沼文蔵氏が1947年に創業し、1993年に田沼千秋現社長が就任、現在は、2132カ所の事業所で、従業員4,761名（総数25,934名）により売上1,131億円を実現する。

主な事業は、契約に基づき社員食堂等各種施設にフードサービスを提供するコントラクトフードサービス事業のビジネス・インダストリー部門（売上の約50%を占める）、同じくコントラクトフードサービス事業で病院やシルバー施設を対象とするヘルスケア部門（同20%）、および新宿サボテンや謝朋殿などのレストラン・デリカ事業（同20%）、そしてホテルマネジメント・コンサルティング事業（同10%）を営む。

2. コンセプト

「グリーンハウスは心身の健康を増進する食とホスピタリティの提案企業」と自らのポジショニングをして、「人に喜ばれてこそ会社は発展する」という社是を掲げる。いまやグリーンハウスのこだわりは、ナチュラル、ウェルネス（創健）、ホスピタリティという。”食を通して心身ともに健やかに”になってほしいから品質向上に努める、お客様にもっと健康になっていただきたいという思いを込めた健康志向のメニューや、お客様に食を楽しんでいただくためのさまざまな取り組みを展開する、専門性の高いサービスを極めるために、社是と理念を軸とした教育研修を行い、ホスピタリティあふれる人材の育成に努める。このような人に喜ばれてこそという思いは、創業期の事情を反映しているといえよう。

3. 創業期に多端を発する経営理念

終戦後、学生さんたちにおなかいっぱい食べてもらいたい、という思いから奮闘は始まった—という。創業者 田沼文蔵は、戦争で亡くした部下の霊に報いるため「社会に役に立つ仕事がしたい」という熱い思いを持ち続け、慶應義塾大学予科の学生寮で学生の食事の面倒を見る仕事を引き受ける。当時は終戦間もない食糧難の時代。近くの農家へ手伝いに行き行って食料を分けてもらいながら学生たちの食事の面倒を見たり、お金の無い学生には無償で食事を提供したこともあった。これが、グリーンハウスのはじまり…。そして、高度成長期を迎え、企業が社員食堂などをつくる時代になり、学生時代、面倒を見ていた方々が、世話になった恩返しにと「社員食堂をつくるならぜひグリーンハウスへ」と次々と声を掛けてくれたことが、成長の大きな後押しとなった…とグリーンハウスのホームページは語っている。

“人に喜ばれる仕事をする”という創業の理念こそが、グリ

ーンハウスの原点。そして、時代は変わり、食生活は豊かになり、お客様のニーズも多様な社会となる。お客様のさまざまなニーズに素早く対応し、質の高いフードサービスの実現を目指し、これからも“人に喜ばれる”事業を展開していく。

4. 安全で確かなものを…食材を仕入れるところから

創健を意味する「ウェルネス」の一端として、食材仕入の衛生チェックを強化し、安全を確認する目的で、自社食品流通センター内に「品質安全管理室」を設置し、食品の成分分析、食材の細菌汚染、残留農薬などをチェックしている。また、高品質な米の安定供給に取り組む。お客様にさらにおいしく安全・安心な米を提供するために、科学的なデータを取りながら各工程ごとに品質をチェックする。成分分析や官能検査、データに裏打ちされた米は、炊飯時の適切な水加減などまでアドバイスが可能になる。

また、日本の食文化の基本をもっと大切に、素材や調理法のこだわりから、毎日の食事の中心である「ごはん」「みそ汁」「漬物」を“三種の神器”と位置づけ、平成13年（2001年）からは、業界トップの品質にまで磨き上げてご提供するべく商品基準を定め、品質と味を追求し続けてきた。

また、レストランブランドでは、たとえば、本格中国料理を展開する『謝朋殿』のコンセプトは“日本の四季を中華する”に求め、厳選した旬の食材を使用し、天然調味料にこだわった料理作りを追求している。滋味深く優しい味わいの料理をご提供できるよう、中華料理業界ではなかなか難しかった、“化学調味料を一切使わない調理法”を実践し、「ナチュラル」の実現に取り組んでいる。

5. 高い衛生意識が食のプロへの出発点

フードサービス事業を担うことはお客様の“命”を預かること。たくさんのお客様に食事を楽しんでいただくために一番大切な使命は、“安全で安心できる食事”を提供することで、グリーンハウスグループはそのための努力を惜しまない。微細にわたる安全衛生基準を軸に、ATS（安全衛生統括責任者）、WSV（ウェルネス・スーパー・バイザー）の設置をはじめ、栄養士による衛生巡回の実施や栄養士研修を実施している。

人材育成の場として、最新鋭のビジュアル設備を導入した研修施設 エキスパート・ビジュアル・トレーニングセンターを設置し、お客様の満足度向上につなげるため、映像を通して成功事例や問題点に“気付き”、改善施策を参加者が共有することで理解・浸透を図る独自の研修プログラムを実践している。

（グリーンハウスのホームページ・会社案内から構成・文責大谷）

◇田沼千秋氏略歴

7503	慶應義塾大学経済学部卒
7504	野村證券(株)入社 7703 退社
7704	(株)グリーンハウス入社
8006	コーネル大院ホテル経営管理学専攻修了
8103	(株)グリーンハウス取締役就任 現
8112	(株)グリーンハウスフーズ代表取締役就任 現
9306	(株)グリーンハウス代表取締役就任 現
0105	NRA 全米レストラン協会国際担当理事 現
0210	コーネルホテルソサイエティ日本代表 現
0501	(株)ホーワス・アジア・パシフィック・ジャパン取締役 CEO 就任 現
0705	社団法人経済同友会幹事 現
0805	社団法人日本フードサービス協会会長 1005 まで。

(注) 塗りつぶしのセルは海外事象。太字は新宿および「新宿さぼてん」関連。次表も同様。

◇(株)グリーンハウス概況

社名	株式会社グリーンハウス
代表取締役社長	田沼千秋
創業	昭和 22 年 4 月 1 日 (会社設立 昭和 34 年 2 月 20 日)
資本金	21.4 億円
売上高	1,131 億円
コントラクトフードサービス ビジネス (社員食堂等) 部門 50%、同ヘルスケア (病院シルバー施設) 部門 20%、レストラン・デリカ 20%、ホテルマネジメント 5%、コンサルティングその他 5%	
店舗数	2,132 か所
従業員	4,761 名
同総数	25,934 名
本社	新宿区西新宿 3-20-2 東京オペラシティタワー17 階
食品流通センター	横浜市都筑区池辺町 3774-2
エキスパート・ビジュアル・トレーニングセンター	新宿区西新宿 3-7-1 新宿パークタワー21 階

JASDAC 公開時点でのデータ

	2004 年 3 月期	2005 年 3 月期
連結売上 億円	635.5	698.3
営業利益 億円	18.9	24.9
経常利益 億円	20.7	25.9
純利益 億円	9.9	11.1
EPS 円	156.34	177.63
総資産 億円	195.6	241.8
負債 億円	93.7	132
株主資本 億円	101.9	109.8
同比率 %	52%	45%
BPS 円	1,685	1,806
現金等期末残高 億円	56.8	92.5

(注) EPS : 1 株当たり純利益。BPS : 1 株当たり株主資本。なお、同社は 2006 年 3 月 JASDAQ 市場への上場を廃止している。

◇グリーンハウス年表

4704	創業者 田沼文蔵が慶應義塾大学の嘱託となり、大学予科食堂を経営 (川崎市登戸)
5001	慶應義塾の日吉移転に伴い、大学と高校の食堂を開設
5403	会社名を慶應義塾の塾生から公募し、グリーンハウスに決定し、有限会社グリーンハウスを設立
5902	横浜市港北区日吉に資本金 200 万円にて株式会社グリーンハウスに改組
6004	工場給食に初の進出 (松下通信工業)
6203	横浜市に給食センターを開設
6501	業界初のカフェテリア方式を東京トヨペットに導入
6612	とんかつ「さぼてん」新宿店を開店 (レストラン 1 号店)
6701	中国料理「謝朋殿」新宿店を開店
6804	警視庁総合庁舎の職員食堂を受託
6904	社立調理学校制度を発足
7001	初の中央官庁受託 (文部省)
7207	レストラン部門を独立させ、株式会社さぼてん (1982 年 2 月株式会社グリーンハウスフーズに社名変更) 設立
8205	東京都の公立学校給食センター (7,500 食/日) を民間企業として初の受託 (小平市)
9011	株式を店頭公開 (業界初)
9111	韓国四大財閥の一つである LG グループの株式会社 LG 流通 (現 OUR HOME) とコントラクトフードサービスの技術提携契約を締結
9204	株式会社北海道グリーンハウスを設立
9204	寮保養所研修所の施設運営管理会社、株式会社ジーエイチサービス (2001 年 8 月株式会社グリーンハウスサービスに社名変更) 設立
9208	米国シニリトル インターナショナルとのライセンス契約をもとに (株) シニリトルジャパンを設立
9306	創業者 田沼文蔵の代表取締役会長就任に伴い、代表取締役社長に田沼千秋就任
9410	厨房備品と施設清掃を取り扱う専門会社、株式会社千秀を設立
9608	本社を東京都新宿区「東京オペラシティタワー」へ移転
9610	物流システムを効率運用するため株式会社グリーンフードテックを設立、同時に食品流通センターを神奈川県横浜市都筑区に竣工
9704	株式会社謝朋殿を設立
9704	株式会社西日本グリーンハウスを設立
9710	株式会社東日本グリーンハウスを設立
9804	株式会社中部グリーンハウスを設立
9901	フードサービス関連スタッフの人材派遣業務の株式会社グローバルリソースを設立
9904	病院社会福祉関連施設のフードサービス事業拡大を図るため、株式会社グリーンヘルスケアサービスを設立
9906	日産自動車グループの株式会社日産コーエーのコントラクトフードサービス事業を譲り受け、株式会社ジーエヌフードサービスを設立
9907	食品流通センター、ウェルネス研修所において、給食サービス業界で初めて環境保護のための国際規格 ISO14001 の認証を取得
9908	沖電気グループの株式会社沖ライフサービスのフードサービス事業を譲り受け、株式会社ジーオーフードサービスを設立
0002	関東地域の営業部門を独立し、株式会社関東グリーンハウスを設立

0003	マネジメント契約によるホテル経営会社、株式会社グリーンホテルマネジメントを設立
0003	安田信託銀行株式会社のフードサービス運営子会社の合併を目的に、株式会社ジーワイフードサービスを設立（2002年4月地域子会社と統合）
0003	富士電機株式会社のコントラクトフードサービスを一括受託し、株式会社ジーエフフードサービスを設立
0004	創業者 田沼文蔵が4月14日逝去
0007	グループ会社の管理業務専門会社、株式会社グリーンマネジメントサービスを設立
0104	食品流通センターにおいて、品質保証のための国際規格 ISO9001 の認証を取得
0105	株式会社東京集団給食技術研究所のコントラクトフードサービス事業を譲り受け、株式会社ジーティーフードサービスを設立（2001年12月株式会社グリーンハウスに吸収合併し、運営を地域子会社に移管）
0109	韓国 LG グループとの技術提携で、ソウルに「とんかつ新宿さぼてん」を出店
0202	JR北海道グループの株式会社北海道弘済サービスのフードサービス事業を、連結子会社である株式会社北海道グリーンハウスが営業譲り受け
0204	株式会社フードサービスかながわを株式会社グリーンハウスに吸収合併
0206	食品流通センターに「食材安全管理室」を設置
0207	三菱自動車工業株式会社のコントラクトフードサービスを一括受託し、運営会社として株式会社ジーディーフードサービスを設立
0207	日産ディーゼルグループの株式会社日弘のフードサービス事業、売店および外販事業を譲り受け（運営は株式会社関東グリーンハウス）
0209	ホーワスアジアパシフィック社（現ホーワスHTL）とのライセンス契約を締結
0211	ホーワスアジアパシフィック、ジャパンとして、ホテル経営コンサルティング業務をスタート
0211	研修センター「エキスパートビジュアルトレーニングセンター」を開設
0310	株式会社グリーンハウスフーズの「とんかつ新宿さぼてん」全店にて、ISO14001 の認証を取得
0310	社会貢献活動として第1回グリーンハウス「ホスピタリティデー」を開催
0402	社団法人日本給食サービス協会の協力企業として、業界初の「食品トレーサビリティシステム開発実証試験」を実施
0403	大栄興産株式会社のコントラクトフードサービス事業を譲り受け、運営を地域子会社に移管
0404	川崎重工業グループのコントラクトフードサービス、外販事業を譲り受け、コーベフーズ株式会社を設立
0404	創業者 田沼文蔵の故郷、福島県南会津郡下郷町「グリーンプラザ 田沼文蔵記念館」竣工
0406	「第12回優良フードサービス事業者等表彰」の[優しい食事空間提供]部門において農林水産大臣賞を受賞
0412	「とんかつ新宿さぼてん」初の現地法人による台湾進出第1号店を出店
0501	ホテルコンサルティング事業分野への進出を目的に、株式会社ホーワスアジアパシフィック、ジャパンを設立

0502	株式会社さかしょくの給食および外販事業を譲り受け、同年4月に運営を株式会社コーベフーズに移管
0505	株式会社ローマナフードサービスより、イタリアンレストランなど洋食業態5店舗を譲り受け
0506	株式会社伯養軒のフードサービス事業を譲り受け、新会社ウェルネス伯養軒として運営開始
0507	株式会社関東グリーンハウスを2分割し、株式会社中央グリーンハウス、株式会社関東グリーンハウスに改組
0510	サクサ株式会社より福利厚生サービス事業、商品斡旋販売事業を譲り受け、新会社 株式会社ジーエスプロアシストが運営を開始
0511	台湾の上場企業「大成長城集団」と合弁事業契約を締結
0602	株式会社グリーンハウスと株式会社グリーンハウスフーズの株式交換契約を締結
0603	JASDAQ 証券取引所 上場廃止
0608	欧州のコントラクトフードサービス企業であるアルブロン社、DSR 社とのアライアンス契約を締結
0610	(株)グリーンホテルマネジメントと(株)グリーンレストランマネジメントが統合し、新会社 (株)グリーンホスピタリティーマネジメントを発足
0611	(株)食品流通センター内に「精米品質管理室」を設定
0704	日本初出店の「四川豆花飯荘」東京店を新丸の内ビルディングに出店
0707	コントラクトフードサービスにおける中国進出を目的に、北京振達餐飲有限公司との合弁事業契約を締結
0708	食品流通センター内にある「精米プラント」をリニューアル
0710	創業60周年を機にコーポレートマークを一新
0711	(株)ウィットを設立し、栄養管理の専門的アドバイスプログラム「あすけん」を開発
0711	ヤマハグループのフードサービスおよび売店事業を譲り受け、(株)ジーワイフードサービスを設立
0803	タイ企業プレジデントベーカリー、双日タイ会社との3社による合弁事業契約を締結
0808	欧州コントラクトフードサービス企業とのアライアンスにフィンランドのFazer Amica 社が加盟
0808	米国ウィンダムホテルグループと「ラマダ」「デイズイン」ブランドの日本国内市場における非独占的開発契約を締結
0812	タイバンコクに「とんかつ新宿さぼてん」1号店を出店
0901	女子栄養大学と産学連携協定を締結
0909	欧州コントラクトフードサービス企業とのアライアンスにフランスのAnsamble 社が加盟
1004	シンガポールに「とんかつ新宿さぼてん」1号店を出店
1006	中国天津に天津緑膳餐飲管理服務有限公司を設立
1007	(株)グローバルリソーシストと(株)千秀の事業を統合再編し、(株)千秀グローバルを設立

(注) グリーンハウスホームページおよび会社案内から構成。文責大谷